日本丁学『	院八王子専門]学校	盟講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	植物バイ:	オテクノロ	1ジー	
科目基礎情		, , , , ,				т п	11173			
	応用生物学科	과 과		コース名				開設期	後期	
対象年次				科目区分	必須			時間数	30時間	
単位数	2単位			授業形態	講義			H.) [F] &X	O M () [H]	
		/ = h n #	7林 左口=		文協、②授業で配布するレジュメ・プリント資料					
教科書/教材 担当教員情		1 アクの基	ლ 知誠」	又肠、② 按	美で配布す	シレンュメ	・ ノリント貸村	'		
						中35√√∇ €今。	大	frrr		
	3当教員 森内 寛 338日45				実務経験の有無・職種		無			
学習目的 植物の分類:	方法、およびそ	の構造と特	対を理解す	る事を目的と	: し、以下のF	内容について	も具体的に学ぶ	` °		
組織培養の	手法とその原理	里を理解し、	実践に向け	ての知識を覚	±.3%					
	ンの種類や生理					いて理解する	۰			
	え植物の作成方	法と世界で	の栽培状況	について理解	¥する。 					
到達目標	I# \# 2 · · · ·	- to 1:	N14 46 ()	d/ = == · ·						
	、構造、特徴を え植物の作成法			物の発生につ	ついて埋解する	Ó.				
教育方法等	F									
	植物の特性を	踏まえ、組	織培養と遺伝	云子組換えに	よる品種改良	・種苗生産	・食糧生産につ	いて学ぶ。		
授業概要										
1年次の科目と異なり、現実の利用方法や時事問題も踏まえた内容となってくる。 数科書に書かれた内容に加え、関連するニュースなどにも興味を持って関連付けられるようにするとよい。										
注意点	定期試験には中級バイオ試験の問題からも出題するので学習しておくこと。									
	—		出席しない者	者は定期試験を受験することができない。 ************************************						
	種別	割合	哲業中のの	備 考 理解度を確認するために実施する						
評価	試験・課題 小テスト			理解度を確認するために実施する						
方	平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
法										
授業計画((10~80)									
	1	授業内容		各回の到達目標						
1 🗓	植物の分類体系と原理			植物の構造と分類について理解する。						
2 回	植物の分化・発生			植物の分化と発生について理解する。						
3 🗓	植物ホルモン			植物ホルモンの概論と、各植物ホルモンの作用について理解する。						
4 🗓	植物栄養と培地			植物を育てる上で必要な成分や培地に必要な成分について理解する。						
5回	植物増殖技術			茎頂培養、大量培養、保存方法について理解する。						
6 <u>□</u>	植物育種技術			雑種獲得や品種改良の為のバイオテクノロジーについて理解する。						
7 🗓	植物の遺伝子組換え技術			植物の遺伝子組換え方法を学ぶ						
8 🗓	まとめ			全体のまとめ						
										
9 🗓										
100										
110	-									
12回										
13回										
14回										